

# やな

## 和生



地元の皆様の声を  
国政に届けます！

地元密着  
現場主義

地元在住(大田原市)  
新幹線で国会に  
通い、夕方は地元  
で皆様のご意見を  
拝聴しています。

衆議院議員  
自由民主党栃木県第三選挙区支部長

やな 和生 45歳

令和6年8月 活動報告

後援会 事務連絡

## ～県北の未来に向けて～

### 「大型構想」に着手！

#### 「国会等のバックアップ機能」を県北地域に誘致！

「国土形成計画（全国計画）」（令和5年7月28日閣議決定）において、「政府機能を始めとする中枢管理機能のバックアップ体制の整備等を進める」ことが明記されました。関係有志議員の「首都直下型地震対策バックヤード構想推進研究会」において、**国会のバックアップ機能の対象地域として那須地域が有力視**されており、「国土形成計画（広域地方計画）」において具体化を図るべく取組みを進めています。

#### 【バックヤード・エリアの条件】

・首都直下地震や南海トラフ地震が発生しても東京と同時に被災することのない内陸の強固な地盤に立脚する地域であり、東京から比較的近い地域であること

・政令市、中核市クラスの複数の都市が存在し、それらが、新幹線、高速道等の高速大量輸送が可能な交通ネットワークで連結されている環状地域であること

- 平成11年2月の国会等移転審議会答申で**首都機能移転の最有力候補地の一つ**に挙げられた「**栃木・福島地域**」が含まれ、同答申において、「**地震に対する安全性も高く、東京圏に大規模地震が発生した場合、応急体制を早期に確立するには現実的な地域である**」とされる。



#### 国土形成計画（全国計画）

##### 第5章 防災・減災、国土強靭化に関する基本的な施策

###### 第4節 諸機能及びネットワークの多重性・代替性確保等による災害に強い国土構造の構築

###### 1. 中枢管理機能等のバックアップ等

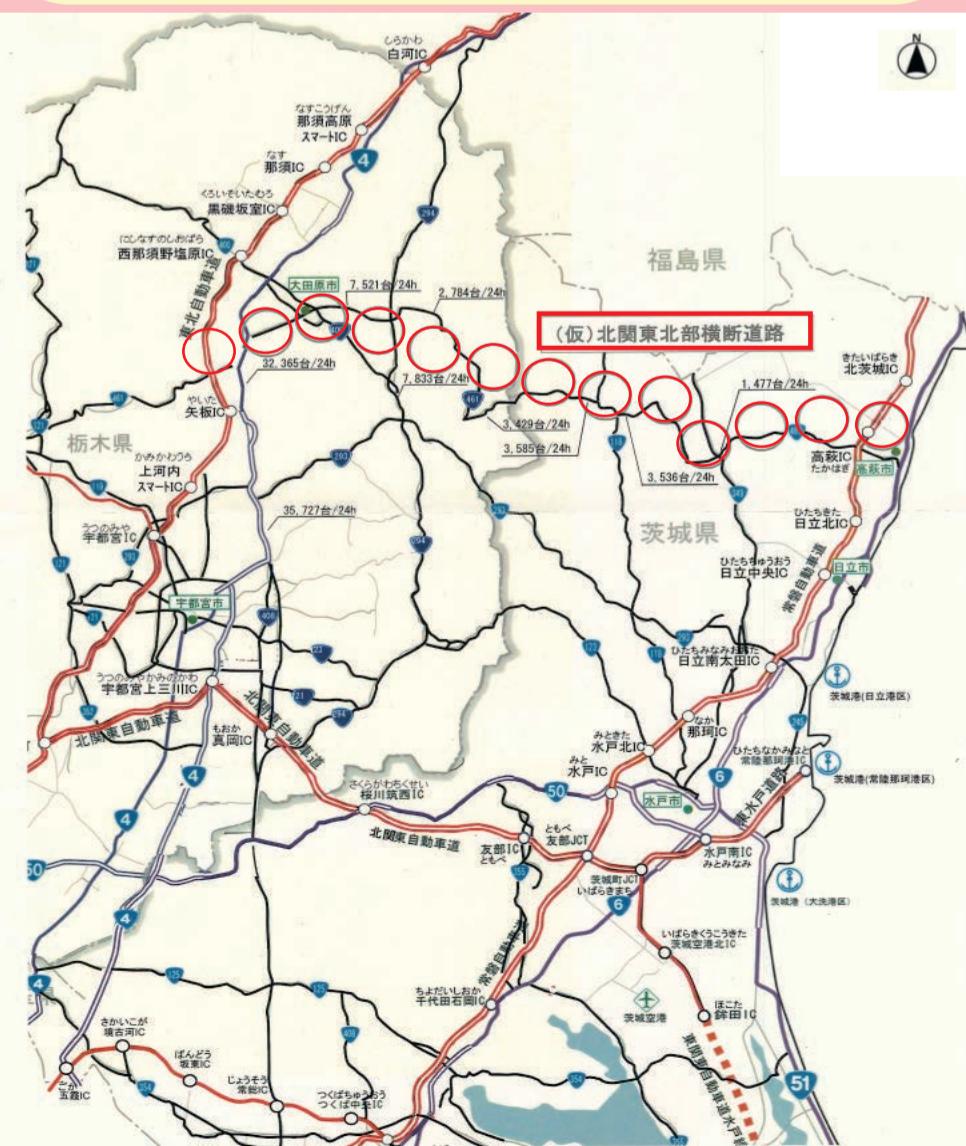
災害対応や復旧・復興で重要な役割を担う中央政府の諸機能が、災害直後においても適切に維持、確保できるよう、政府業務継続計画（首都直下地震対策）を踏まえ、各府省のBCP<sup>63</sup>について、実効性を高めるための訓練や評価を実施しつつ、不斷に見直す。また、機能が集積している地域の防災・減災対策を進めつつ、平時から、官庁施設の耐震化、物資の備蓄、電力等の確保、通信経路やネットワーク拠点の二重化、各種データのバックアップ体制の整備等の業務継続の対策を推進する。

さらに、東京に集中する人口及び諸機能の分散、政府機能を始めとする中枢管理機能のバックアップ体制の整備等を進める。このうち、政府機能については、政府業務継続計画（首都直下地震対策）に基づき、行政中枢機能の全部又は一部を維持することが困難となった場合における当該行政中枢機能の一時的な代替に関する事項<sup>203</sup>について更に検討を深める。

#### 茨城沿岸～栃木県北～東北自動車道を結ぶ 「高速道路」を新設！

「北関東北部横断道路(仮称)」の高規格道路としての構想化が実現し、令和5年12月に栃木県・茨城県の関係9市町を構成員とする**期成同盟会**が設立しました。県北地域における「横」の移動が改善され、沿岸地帯を含む茨城県北部地域との連携が強化されることで物流や観光の活性化が期待されます。

大田原及び黒羽地区にそれぞれインターチェンジを整備し、この**高速道路**を東北自動車道に直結させることで、「縦」と「横」の交通利便性が劇的に向上します。



#### 国道4号矢板大田原バイパスに、

### 「大規模 道の駅」を整備！

国道4号沿線の「道の駅」は、「道の駅しもつけ」（栃木県下野市）と「道の駅安達」（福島県二本松市）の約170kmの区間には一つも存在しないため、新設される「矢板大田原バイパス」沿いに、**大規模な道の駅**の建設を目指します。

県北地域の防災拠点としての機能に加え、**大型車や長距離移動車の休憩所機能**に大きなニーズが見込まれており、各種商業施設を誘致するとともに、県北の農産物直売所や温泉施設等の整備を図ることにより、県北地域の経済活性化と**県北全域**への送客拠点化を図ります。



